

教育研究業績	
2023年5月1日	
氏名 石川 幸代	
研究分野	学位
精神看護学	修士(看護学) 札幌医科大学大学院保健医療学研究科
研究内容のキーワード	
精神看護 精神保健 精神に障害をもつ人の支援	
教育上の能力に関する事項	
事項	年月日
<b>1. 教育方法の実践</b> 以下の授業科目を担当し、教育実践を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神看護活動演習</li> <li>・精神看護学実習</li> <li>・精神看護活動論</li> <li>・精神看護学概論</li> <li>・総合判断育成演習</li> <li>・精神看護学援助Ⅰ</li> <li>・精神看護学援助Ⅱ</li> <li>・精神看護学援助論Ⅲ</li> <li>・卒業研究</li> <li>・フレッシュセミナー</li> <li>・応用看護論</li> <li>・統合実習</li> <li>・精神保健</li> <li>・精神看護支援論</li> <li>・基礎ゼミナール</li> <li>・療養支援実習</li> <li>・総合実習</li> <li>・看護学の動向と課題</li> <li>・看護とコミュニケーション</li> </ul>	平成16年4月～平成25年3月 平成18年4月～ 平成19年4月～平成25年3月 平成21年4月～ 平成21年4月～平成25年3月 平成25年4月～平成31年3月 平成25年4月～平成31年3月 平成25年4月～平成31年3月 平成25年4月～ 平成25年4月～平成31年3月 平成26年4月～平成31年3月 平成29年4月～平成31年3月 平成31年4月～ 平成31年4月～ 平成31年4月～ 平成31年4月～ 平成31年4月～ 平成31年4月～ 令和4年4月～
<b>2. 作成した教科書、教材</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合失調症の症状の経過と治療的アプローチを理解するためのポイントノート</li> <li>・精神科薬物療法と看護のポイントノート</li> <li>・写真で学ぶ精神科医療の歴史</li> <li>・オレム・アンダーウッド理論を用いた看護過程の展開</li> <li>・ビデオと共に学ぶ精神看護シリーズ「精神病院の実際」(DVD)</li> </ul>	平成15年2月～平成19年3月 平成15年2月～平成19年3月 平成16年9月～ 平成17年9月～平成25年3月 平成21年6月～平成25年3月
職務上の実績に関する事項	
事項	年月日
<b>1. 資格、免許</b> 看護師免許 保健師免許 第一種衛生管理免許 養護教員二種免	平成9年4月取得 平成9年4月取得 平成12年1月取得 平成12年1月取得
<b>2. 所属学会</b> 日本看護科学学会 日本精神保健看護学会 日本精神障害者リハビリテーション学会	平成12年～ 平成14年～ 平成16年～
<b>3. 社会貢献</b> 第45回日本看護学会—精神看護—論文選考委員 埼玉県看護協会第3支部看護研究指導	平成26年～平成27年 平成31年～
<b>4. 研究費助成</b> 科学研究費補助金(若手研究B) 「統合失調の母子綾を持つ子どもに対する心理教育プログラムの開発」 科学研究費補助金(基盤研究C) 「応援概念に基づく精神障害をもつ人の子育て支援アプローチの開発にかかわる研究」	平成22年～平成24年 平成31年～
<b>5. 大学運営</b> 大学 ハラスメント防止・対策委員会委員長 看護学部 FD委員会委員長 看護学部 キャリア開発委員会委員長 看護学部 実習委員会委員長 看護学部 学生サービス委員会委員長	平成31年4月～令和3年3月 平成31年4月～令和2年3月 令和2年4月～令和4年3月 令和4年4月～ 令和4年4月～

研究業績等に関する事項	
著書、学術論文等の名称	著者、発行又は発表の年月、発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
(著書)	
1. 看護学・実践活用ハンドブック 精神看護学第2版	共著、平成19年11月、日本放射線技師出版会
2. エビデンスに基づく精神科看護ケア関連図	共著、平成28年1月、中央法規出版
3. 精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 第6版7刷	共著、令和4年12月、ヌーヴェルヒロカワ
(学術論文)	
1. 看護補助者に必要な教育を考える	共著、平成15年3月、精神医学研究所業績集第39輯
2. 東京武蔵野病院精神科リハビリテーションサービス(MPRS): 10年目の予後調査(第2報) 受療者への満足度調査報告	共著、平成16年3月、精神医学研究所業績集第40輯
3. 激しいエピソードをもつ精神障害者の退院支援～精神科における医療・保健・福祉の連携について～	共著、平成18年2月、共立女子短期大学看護学科紀要第1号
4. 在宅における精神障害者をもつ家族の困難体験の内容と対処および家族(第1報) 初年度OSCEにおける学生の到達度評価と今後の課題	共著、平成18年2月、共立女子短期大学看護学科紀要第1号
5. 統合失調症に対する偏見の軽減のためのバーチャルハルシネーション(日本版)の効果	共著、平成19年2月、共立女子短期大学看護学科紀要第2号
6. 在宅における精神障害者をもつ家族の困難体験の内容と対処および家族(第2報)	共著、平成19年2月、共立女子短期大学看護学科紀要第2号
7. 長期入院している高齢統合失調症患者の精神科リハビリテーション看護に関する一考察	共著、平成20年2月、共立女子短期大学看護学科紀要第3号
8. 患者の自殺を体験した看護師のポストベンションに関する一考察	共著、平成20年2月、共立女子短期大学看護学科紀要第3号
9. 母への支援が統合失調症患者の地域生活の継続を可能にした一事例～Aguilera, D. C., Messick, Mの「危機調整活動に対するアプローチ」を用いて	共著、平成21年2月、共立女子短期大学看護学科紀要第4号
10. 自殺により同胞を失った看護師が体験した悲嘆回復のプロセスと支援の一考察～1年間のかかわりを通して～	共著、平成21年2月、共立女子短期大学看護学科紀要第4号
11. 過去に他害があった精神障害者の退院支援における医療・保健・福祉の連携	単著、平成21年12月、日本地域連携精神看護学研究会「実践 英米日3ヶ国の地域精神看護」
12. 精神障害者の退院支援に求められるもの ～障害者自立支援法と精神障害者の退院についての文献検討から～	共著、平成22年2月、共立女子短期大学看護学科紀要第5号
13. 精神科に勤務する新卒看護師のメンタルヘルスに関する研究の動向	共著、平成23年2月、共立女子短期大学看護学科紀要第6号
14. 精神科病棟において看護師が実践するレクリエーションに関する研究の動向	共著、平成24年2月、共立女子短期大学看護学科紀要第7号
15. レクリエーションは精神科看護師にとって「宝箱」である	共著、平成26年11月、精神科看護Vol. 41
16. 看護とレクリエーション	共著、平成27年5月、日本レクリエーション協会 レクルーNo. 661
17. レクは、患者さんの可能性や性格、長所を知る貴重な機会	単著、平成日本レクリエーション協会 レクサイトVol. 9
18. 初年度OSCEにおける学生の到達度評価と今後の課題	共著、平成30年3月、帝京平成大学紀要大29巻
19. 医療分野において健康問題を抱える人へ実践されている応援の概念分析(総説)	共著、令和4年9月、日本看護科学会誌42巻、P652-660